

JISAセッション



川越 敏浩

株式会社ジャステック

製造本部

取締役 執行役員製造本部副本部長

なぜ、JISA価格モデルなのか？

価格変動要因の価格モデルへの適用事例

プロフィール

1986年(昭和61年)4月、株式会社ジャステックに入社。

入社以降、顧客システム開発部署である製造本部にて、電力、旅行、通信、放送、生保、銀行、信託など様々な業界の顧客基幹システム開発に携わる。

同時に、ジャステックオリジナルの量、生産性および品質にもとづく生産管理技術(ACTUM)による、見積り、進捗(出来高)管理および品質管理を実施してきた。

生産管理技術の根幹である定量管理モデルのさらなる深化を図るとともに、開発プロジェクト管理、契約管理、購買管理および売上利益管理などとの連携も強化中。

現在、品質マネジメントシステム(QMS)を維持改善する品質環境管理室を擁する技術部の部長を兼任。

JISA 企画委員会企画部会 委員

JISA 市場委員会価格モデル部会 委員

講演概要

人月工数積算による価格は、作業量に連動したコストを回収できる点で、ローリスクのように思われがちだが、現実には、予算ありきのフィックスドプライスのもとで、様々な変動要因によってコストが膨らむハイリスクなものである。これは、顧客にとっても好ましいことではない。

よって、量と品質をもとにした標準的な価格、これに影響を与える変動要因とその影響度合いを以って、裏づけのある納得性が高い価格を顧客と共有する必要がある。

このための価格モデルは、一朝一夕で構築できるものではなく、工程生産物定義、ソフトウェア開発プロセス、定量的見積りと生産管理、顧客との合意事項などと密接に関連し、日々深化(進化)していくものである。

この価格モデルへの取組みを紹介する。